

2022年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
応用演技Ⅱ											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	40	単位	1
担当教員	オーハシヨースケ			実務経験	有	職種	俳優・演出・演劇教育家				
担当教員紹介											
国際交流基金フェローシップでベルギーに、文化庁でイギリスに留学。1985年にモリムラルミコとTAICHI-KIKAKU設立し「身体詩」という新しい「劇」分野を切り開き世界24カ国100回の海外公演に主演。カイロ国際実験演劇祭BEST ACTOR AWARD受賞。著書「立ち位置の法則」（かんき出版）など。											
授業概要											
インボディメント・エクササイズ ～身体性を深めるカラダ作り～ インボディメント(EMBODIMENT)の視点、すなわち心とカラダを一つに捉える視点からドラマする力、演劇性を深かめる身体を練り上げるカラダ作りをする。											
到達目標											
相手を受け取る、言葉やイメージを受け取とれるカラダの感受能力をプロとしての俳優・声優、身体表現者の域に高める。 想いをリアルに身体で表現できる、象徴的な身体表現ができ声と動きとキャラクターを一体的に表現できる、ドラマを創るプロとしてのカラダのしなやかさと強度を身を高める											
授業方法											
毎回基本フィジカルトレーニングとして、3つのムーブ、3つのほぐし、言葉の体操(アハメーション)を実施。 カラダ＝ココロの原則に則り、各回一つのテーマに沿ったEMBODIMENTエクササイズを実施する。											
成績評価方法											
授業での積極性、こちらが出す課題への適格なプレゼンテーション、エチュードの表現力等を採点していく。 また、振り返りとしてレポートを提出してもらい、採点をする。											
履修上の注意											
フロアシューズなど上履き、ジャージ等体操着を着用。アリーナを他学科と共同使用なので使用上のルールを守る。											
教科書教材											
ベーシックテキストを使用。必要に応じて印刷物を配布。											
回数	授業計画										
第1回	立つと倒れる～自分の重心を知る～重量を感じる グループ課題を出して、グループでフィジカルシアター：グループで滝を表現										
第2回	受ける・感受するとゆだねる ： 重力を感受する相手を受ける～後ろ倒れ～ 昆布と波 グループ課題を出して、グループでフィジカルシアター：グループで風を表現										
第3回	脱力と歩く： 3つの動き、3つのほぐし、ストレッチ、 グループ課題を出して、グループでフィジカルシアター：グループで一匹、怪獣を創る										
第4回	感情、情動、体性感覚と身体性：感情とからだ。 グループ課題を出して、グループでフィジカルシアター：カラダのマスクで創るオムニバスストーリーⅠ										
第5回	声を身体化する：オイリュトミーの身体性。動物発声、動きとカラダ、 グループ課題を出して、グループでフィジカルシアター：不思議な動物園パレード										

2022年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
応用演技Ⅱ	
第6回	戯曲の示す二つの世界観を身体性で表現① I エルコスの祈り 人間とAIロボット 戯曲をカラダで読む
第7回	戯曲の示す二つの世界観を身体性で表現② I エルコスの祈り 人間とAIロボット 戯曲をカラダで読む
第8回	戯曲の示す二つの世界観を身体性で表現③ II 欲望という名の電車・二つのアメリカ 世界観 出来事 キャラクター
第9回	戯曲の示す二つの世界観を身体性で表現④ II 欲望という名の電車・二つのアメリカ 世界観 出来事 キャラクター
第10回	押す引く： パントマイムの壁押し、気のボール 、グループ課題を出して、フィジカルシアター：遊園地の風景
第11回	アンサンブルと身体性：すり足で出会いと別れ～仕掛け開き 戯曲の示す二つの世界観を身体性で表現 ② あの世とこの世
第12回	キャラクターと身体性：椅子物語 7つのイスに坐る7つのキャラクターをフィジカルで表現
第13回	キャラクターと身体性：椅子物語 7つのキャラクターの物語を身体的に構成する
第14回	カラダのマスクで創るオムニバスストーリー
第15回	不思議な動物園パレード